

(令和3年5月6日受付)

危険な国道に田辺市としての安全対策を

■内容

先日、十津川から龍神温泉まで国道425号をドライブしました。^{うしまわしごえ}半廻越から龍神温泉間の路肩は大変危険な所があり、アスファルト下の土が崩壊によって失われていました。国道ですので国が管理すべきであるのは理解していますが、本格的な修復工事に入るまでの間、田辺市で安全対策をして頂きたいと存じます。ご検討をよろしくお願いいたします。

■回答

国道425号につきましては、和歌山県が管理を行っている道路であることから、現状について問い合わせたところ、「和歌山県としましては、日常管理として道路パトロールを行い、危険な箇所や陥没等あれば早急に対応を行っていますが、修繕で対応が出来ない箇所については、舗装修繕等を実施しています。令和2年度においても数箇所の修繕を行いました。」との回答でした。

市としましては、直接的な対策を市が行うことは難しいと考えますが、今回のご提案の趣旨を和歌山県に伝えるとともに、道路に危険な箇所を発見した場合や第三者からの情報提供があった場合には、速やかに管理者である和歌山県に報告するなど、今後とも管理者と協力しながら安全の確保に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【土木課 土木係】

※本件は、令和3年5月26日に回答したものです。